
Power Thro

POWER & THROTTLE CONTROLLER

INSTRUCTION MANUAL

取扱説明書

本書は『Power Thro』の操作方法を記載した、【取扱説明書】です。
取り付け方法については、別冊の【取り付け説明書】をよくお読みください。

BL⚡TZ

安全上のご注意

この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただくために、装着前ならびに組み立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡してください。品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や取り扱いによって受けられた損害や、改造、変造など行った製品を使用して受けられた損害については、弊社はその一切の責任を負うことができませんので予めご了承ください。

※ 本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味）



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- ・ 本製品は、DC12V 車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V または 12V・24V 兼用車に使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
また、配線にはヒューズを取り付けたり、車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を取らないようにしてください。
- ・ 本製品の取付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。
- ・ 接続、取付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。
ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業を行ってください。
- ・ 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・ 高温になる場所や水が直接かかる場所には本製品を取り付けしないでください。
感電・火災・電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、視界や運転の妨げになる場所、不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・ 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・ 本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので、配線の接続方法ならびに使用方法を誤ると車両の不調や故障・破損・事故といった問題が発生する恐れがあります。
製品の取付けに関しては必ず専門の業者にて行い、ご使用前には必ず本書をお読みになって、正しくお使いください。

安全上のご注意



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・ 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- ・ 本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では内部回路が破壊されることがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちることがあります。
- ・ 装着車両に、本製品以外に本製品同様のシステムを搭載した製品との併用を行った場合には、本製品の故障や車両の不具合が発生する可能性があります。
この場合、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・ 本製品は純正 ECU 車両を前提に企画されております。
純正以外の ECU を取り付けている場合や ECU の書き換えを行っている場合には、絶対に取り付けを行わないでください。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損しますのでご注意ください。
- ・ エンジンルーム内の作業を行う際は、エンジンの温度が十分に下がってから作業を行ってください。エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり誤作動を起こす可能性も考えられます。
各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。
- ・ オートブレーキホールド搭載車は車両の個体差により意図せずブレーキホールド機能が解除される場合があります。その場合、スロットルコントローラーとブレーキホールド機能を併用しないでください。

□ 必ずお読みになり、よくご理解ください。

- ・ 本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し、実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開けることで、体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られ、さらに NA 車のエアフロセンサー、またはターボ車の圧力センサーの制御を最適化することで、実際に車両の最高出力の上昇を実現します。
- ・ 体感的な部分には個人差があり、車種によっても制御方法の違いや個体差があるため体感しづらい場合もございます。予めご了承ください。
- ・ 本製品の機能は本製品の概要をご理解いただいていない、ご本人様以外の方が本製品を装着した車両を運転する場合、非常に危険です。ご本人様以外の方が運転する場合は必ず OFF またはノーマル状態に戻してください。

パーツリスト

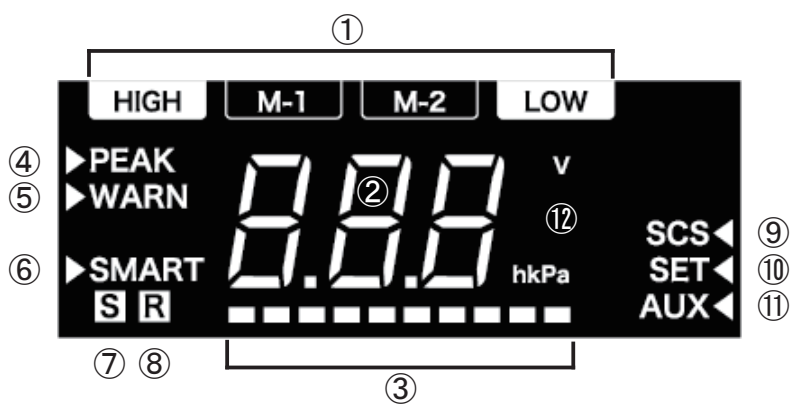
パーツリストは別冊の【取り付け説明書】に記載しております。
装着前に必ず不足品がないかご確認ください。

コントローラーの各部名称と表示

コントローラー



コントローラー表示



コントローラー表示と説明

- ①【M-1】【M-2】【LOW】【HIGH】
それぞれオプション設定 1、オプション設定 2 の際に点灯します。
- ② 7 セグ表示
各種モードやアクセル開度、時間などを表示します。
- ③ バー表示
アクセル開度を 7 セグと同時にバーグラフでも表示します。
- ④【PEAK】(P.14 参照)
ピーク表示機能使用中に点灯します。
- ⑤【WARN】(P.9 参照)
予め設定したワーニング値を超えるとこの表示が点滅します。
- ⑥【SMART】(P.7 参照)
『スマートモード』が使用可能な状態にあるときに点灯します。
- ⑦【S】(P.7 参照)
スクランブルモード動作中に 7 セグのカウントダウン表示と共に点灯します。
- ⑧【R】(P.14 参照)
リバースキャンセル機能作動中に 7 セグの【REV】表示と共に点灯します。
- ⑨【SCS】(P.13 参照)
スタートコントロールシステム (SCS) の制御が動作中に点灯します。
- ⑩【SET】
初期設定、オプション設定 1、オプション設定 2 の設定モード中に点灯します。
- ⑪【AUX】(P.12 参照)
パワーユニットの制御中に点灯します。
- ⑫ 単位表示 (P.14 参照)
ピーク表示機能使用中にセンサータイプ設定に合わせて単位を点灯させます。
※ 本製品では表示上の都合により、ブースト圧の単位 [×100kPa] を [hkPa] と表示しております。

◎ 7 セグの特殊な表示について

本製品では、7 セグ表示部分に下図のような特殊な文字が表示されます。
これは 7 セグ表示で幅広く文字を表示させるために採用しています。
コントローラーの表示不良ではありませんので、予めご了承ください。



【M】



【W】



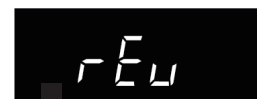
【X】



【MAX】



【WA0】



【REV】

⚠ 取り付け後は必ず初期設定を行ってください。⚠

- ⚠ 取り付け作業後、必ず下記手順に従い本製品の初期設定を行ってください。
初期設定を行わないままエンジンを始動すると、車両の ECU がセンサー信号を認識できず、エンジンやハイブリッドシステムのチェックランプが点灯します。
- ⚠ 初期設定は絶対にエンジンを始動させず、IG-ON 状態で行ってください。
- ⚠ 取り付け車両の変更を行った際にも、必ず初期設定を行ってください。
車両ごとの個体差により初期設定値が異なり、車両不具合の原因となります。
- ⚠ 初期設定をきちんと行えなかった場合、コントローラー表示がエラーになります。
この場合は初期設定をやり直してください。

- ① コントローラーの POWER ボタンを押し続けた状態で IG-ON にしてください。

※ 絶対にエンジン始動しないでください。

POWER ボタン



- ② POWER ボタンを押し続けていると、コントローラーの表示が数字表示となり、15 秒間のカウントダウンが始まります。カウントダウンが始まったら、POWER ボタンを押すのをやめてください。

※ 15 秒間のカウントダウンが始まった時点で、今まで入っていた初期設定データは全て消去されます。

間違えて初期設定モードに移行してしまった場合にも必ず以下の手順に従って、再度初期設定を行ってください。



初期設定画面（カウントダウン表示）

- ③ 初期設定モードの 15 秒以内にアクセルペダルの全開と全閉を 2 回以上繰り返してください。

※ この操作でスロットルポジションセンサーの電圧信号の 0% と 100% の学習を行います。

踏み込みが甘いと走行中にチェックランプが点灯する場合があるので、確実にアクセルペダルを踏み込んでください。

※ キックダウンスイッチ装着車両では、踏み込んで止まったところから、もう一段奥まで確実に踏み込んでください。

※ 初期設定モード中に IG-OFF やエンジンの始動は絶対に行わないでください。

- ④ 正常に初期設定が完了し、15 秒間の初期設定モードが終わると、コントローラーが消灯状態になり、パワースロ OFF 状態となります。POWER ボタンを 1 度押し、【AU.2】が表示されていれば、初期設定完了になります。

※ 初期設定モードが終わり、エラー音と共にコントローラーが【Err】表示の場合、初期設定に失敗しています。

配線の接続が正しいか再度確認し、もう一度初期設定を行ってください。



【OFF 状態】（何も表示されません）

※全ての機能が OFF の状態です。



【AU.2】表示（オートモード 2）



【Err】表示（初期設定エラー）

モード説明

モードの切り替えは、パワスロ ON 状態の時にコントローラーの UP・DOWN ボタンで切り替えられます。

「ECO」モード

(全5モード)

純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。全5モードでエコランを実現します。【EC.5】(ハイブリッド専用は【HE.5】)がもっともエコな低比率となります。



「SPORTS」モード

(全10モード)

段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+αのセッティングです。10モードを用意し、きめ細かいコントロールが選択できます。【SP.M(SP.MAX)】(ハイブリッド専用は【HS.M】)がもっとも高比率となります。



「AUTO」モード

(全5モード)

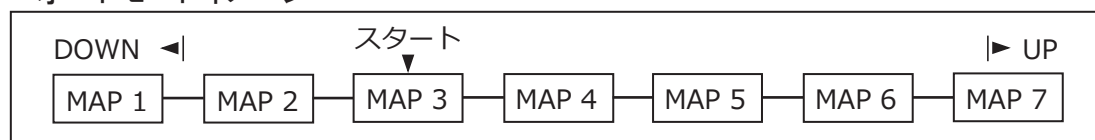
走行状態により7段階の比率を、マイコン制御により自動的に選択します。渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に最適なモードを、この「Power Thro」が自動判別し快適な制御を行います。他のモードからAUTOモードに変更した場合は、その時点での最適な状態からスタートとなります。

【AU.1】～【AU.4】はMAPがUP方向に切り替わるにつれて徐々に比率が上がります。【AU.4】が最も高比率となる設定です。

【AU.5】はMAP1～3は高比率、MAP4～7は低比率となり、発進時のレスポンスを重視した設定です。



* オートモードイメージ



※ AUTOモード中はスロットル開度をマイコンで制御しているため、アクセル操作により常時段階が変化します。この時にコントローラーのバー表示が流れるような動作をし、段階が変化した時の目安になります。

- ・ 比率DOWN方向 ⇒ バー表示が右から左に流れる
- ・ 比率UP方向 ⇒ バー表示が左から右に流れる

※ AUTOモードの状態でエンジンをかけた場合は、「MAP3」からスタートとなります。

モード説明

「SMART」モード (全5モード)

NA車ではエアフロセンサー、ターボ車では圧力センサーの電圧値よりエンジン負荷率を算出し、その時のエンジン負荷に応じて、アクセルレスポンスを制御します。

このスマートモードが使用可能な状態の時は常にコントローラーの【SMART】表示が点灯しています。

NA車の場合、回転数の上昇に伴いエアフロ電圧が上昇、ターボ車の場合、過給圧の上昇に伴い圧力センサー電圧が上昇します。

街乗り等のエンジン低負荷時には低比率の制御を行うことで、低速時の急激な挙動を抑え、快適でスムーズなドライブを可能にし、高速加速時等のエンジン高負荷時には高比率の制御を行い、より鋭い加速へとアシストする賢いモードです。

【SM.1】～【SM.4】はエンジンが高負荷になるにつれて、比率が高いMAPを選択します。【SM.4】が最も高比率となる設定です。

【SM.5】はエンジンが低負荷から中負荷までは高比率、エンジンが高負荷になると低比率のMAPを選択し、街乗り等に最適な制御を行います。

スタンダード
ハイブリッド 共通

【SM.1】



【SM.5】

⚠ 注意 ⚠

パワーユニットハーネスが断線した場合などにスマートモードを選択すると下図のような【Er1】のエラー表示を行うようプログラムされています。

【Er1】のエラーが表示されている間はノーマル復帰状態となりスロコン機能はOFFになります。

【Er1】のエラー表示が出た場合には、速やかに車両を停車し、(P.16)の指示に従い圧力センサーまたはエアフロセンサーハーネスをノーマル復帰し、不具合原因の特定を行ってください。



【Er1】表示（パワーユニット断線エラー）

「SCRAMBLE」モード (オプション) 【別売のスクランブルスイッチが必要です。】

別売のスクランブルスイッチを接続し、スロコン機能使用中にスクランブルスイッチを操作することで、通常セットしたモードに関係なく、最大比率まで引き上げるスクランブルモードが使用できます。

スクランブルモード中はコントローラーの【S】マークが点灯し、カウントダウン時間を表示します。カウントダウンが終了するとスクランブルモードが終了し、直前まで使用していたモードに戻ります。スクランブルモード動作中にコントローラーもしくはスクランブルスイッチを操作することで強制的にスクランブルモードを終了させることも可能です。

※ スクランブル時間の設定を【常時 (MAX)】に設定した場合、スクランブルスイッチを操作し、スクランブルモードに移行すると、コントローラーもしくはスクランブルスイッチを操作されるまで常にスクランブルモードで動作し続けます。

※ パワスロが OFF 状態で、コントローラーが消灯しているときにスクランブルスイッチを操作すると、パワスロが ON 状態に切り替わり、モードが表示されます。

※ スクランブル時間の設定については (P.11) を参照してください。



スクランブルモード中は
【S】マークとカウントダウン時間を表示

商品名	コード No.	本体価格
Thro Con スクランブルスイッチ	14799	¥2,500

オプション設定 1

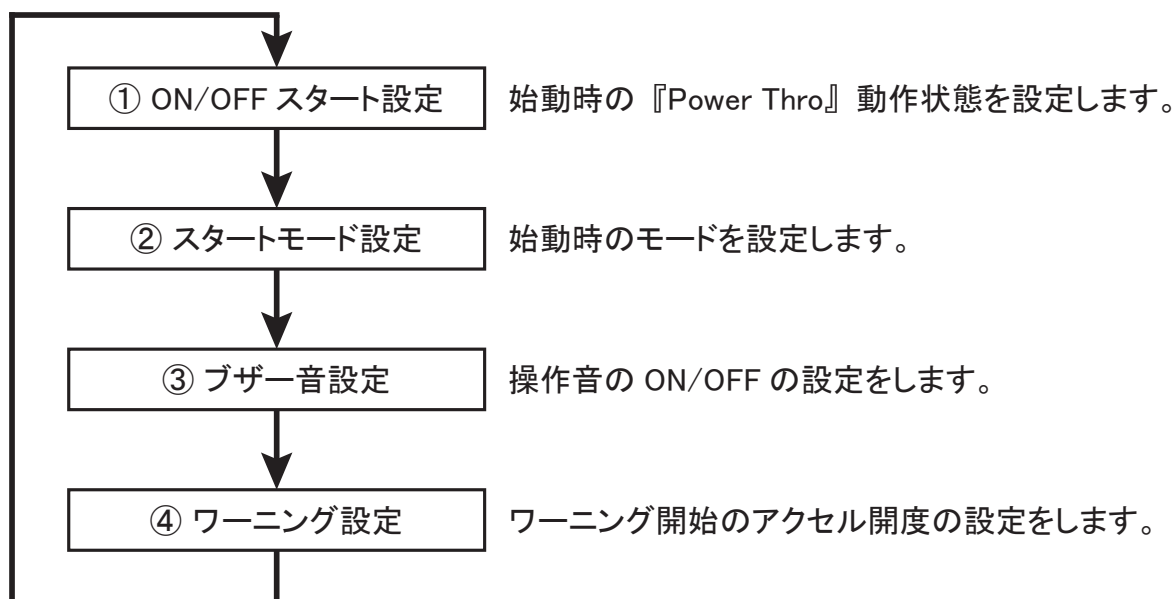
※ 本設定は必ずしも行う必要はありません。設定を行わなくても本製品の動作には問題ありません。
設定を変更したい項目のみ設定を行ってください。

オプション設定 1 には「UP ボタン」を押しながら、IG-ON することで移行できます。

※ オプション設定 1 を設定中はコントローラー上部の【M-1】が点灯します。



オプション設定 1 設定項目一覧



「POWER ボタン」【短押し】で、設定項目が切り替わります。①から④まで進めると①に戻ります。
各項目の内容変更は「UP・DOWN ボタン」で行います。

「POWER ボタン」【長押し】で、設定内容が確定され、通常表示に戻り、設定完了となります。

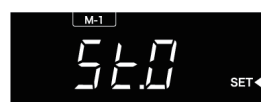
オプション設定 1 設定項目内容

① ON/OFF スタート設定

エンジン始動時に本製品を ON/OFF どちらの状態ですtartするかを変更することができます。

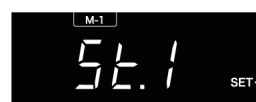
※ 本製品出荷時はセーフティ機能の一環として、エンジン停止毎（IG-OFF 毎）に OFF 状態からスタートするように設定されています。

※ 「ON スタート」に設定した際に、本製品の概要をご理解頂いていない方が使用する場合、非常に危険です。ご本人様以外の方が運転される場合には「OFF スタート」設定にしてください。



OFF スタート

【St.0】
初期値



ON スタート

【St.1】

② スタートモード設定

エコモードからオートモードまでの 20 モードの中から好みのモードを選択することで、エンジン始動毎に選択したモードからスタートさせることができます。



【AU.2】
初期値

③ ブザー音設定

コントローラ操作時の操作音やブザー音の ON/OFF を設定することができます。「OFF 設定」にした場合、全ての音が OFF となります。



ブザー OFF

【Bu.0】



ブザー ON

【Bu.1】
初期値

④ ワーニング設定

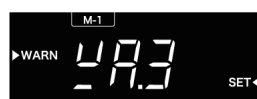
アクセルペダルの踏み過ぎ注意のワーニング機能を設定することができます。

設定はアクセル開度で行い、アクセル開度 30% ～ 90% の範囲で、10% 刻みでの設定が可能です。ワーニング時は左側の【WARN】のマークが点滅します。ワーニング音は鳴りません。



ワーニング OFF

【WA.0】
初期値



30% でワーニング

【WA.3】



90% でワーニング

【WA.9】

オプション設定 2

※ 本設定は必ずしも行う必要はありません。設定を行わなくても本製品の動作には問題ありません。
設定を変更したい項目のみ設定を行ってください。

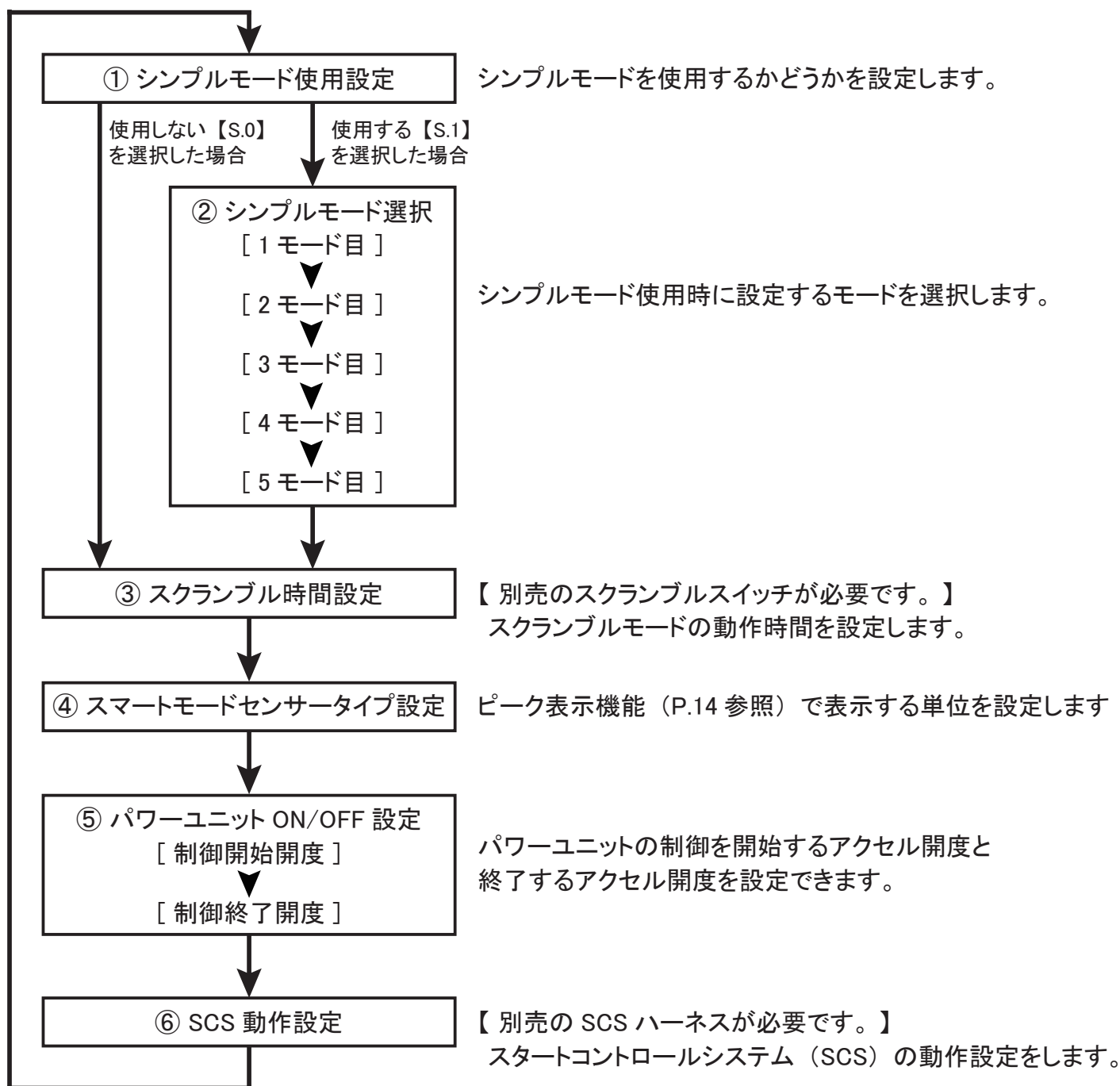
オプション設定 2 には「DOWN ボタン」を押しながら、IG-ON することで移行できます。

※ オプション設定 2 を設定中はコントローラー上部の【M-2】が点灯します。



DOWN ボタン

オプション設定 2 設定項目一覧



「POWER ボタン」【短押し】で、設定項目が切り替わります。①から⑥まで進めると①に戻ります。
各項目の内容変更は「UP・DOWN ボタン」で行います。
「POWER ボタン」【長押し】で、設定内容が確定され、通常表示に戻り、設定完了となります。

オプション設定 2 設定項目内容

① シンプルモード使用設定

通常はエコモードからスマートモードまで 25 モードあります。
25 モードも必要ない場合に、お好みで 5 モードを選択し、その 5 モードのみを表示させることができる『シンプルモード』を使用するかどうかを設定することができます。



② シンプルモード選択設定

①でシンプルモードを使用する設定【S.1】を選択した場合のみ、5 つのモードを選択する設定画面に進み、1 モード目から 5 モード目までお好みのモードを順番に選択します。

1 モード目から 5 モード目までのそれぞれの設定画面上で「UP・DOWN ボタン」を操作することでモードが切り替わり、「POWER ボタン」を押すことで次に進みます。

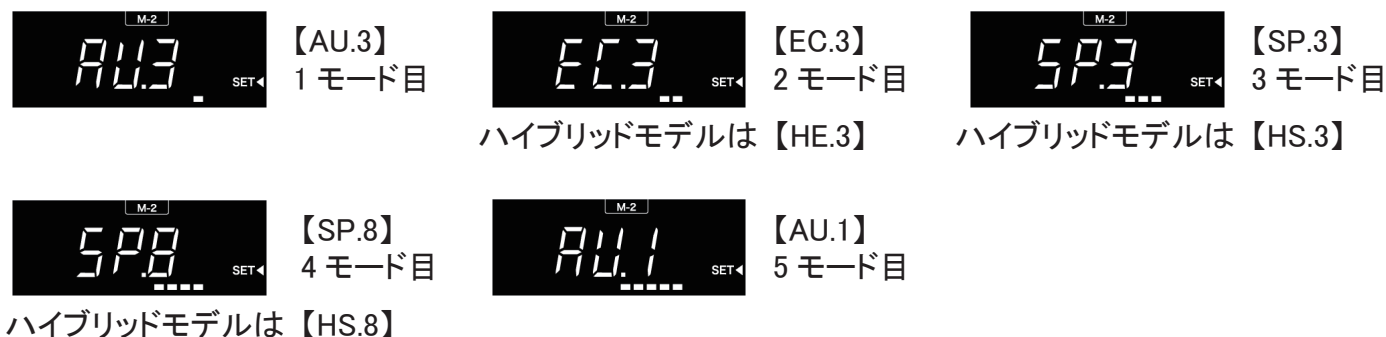
①でシンプルモードを使用しない【S.0】を選択すると、この設定は表示されず、③の設定に進みます。

※ 5 つのモード選択時にバー表示が右から順番に 1 つずつ点灯し、何モード目を選択中かの目安になります。

※ 下記イラストのモードはそれぞれ初期値に設定されているモードです。

※ 1 モード目に設定したモードが始動時、一番最初に表示されるモードとなります。

※ シンプルモード中に表示されるモード名は通常使用時のモード名と同じ表示名となります。



③ スクランブル時間設定 【別売スクランブルスイッチが必要です。】

スクランブルスイッチ（別売）を操作した場合の、スクランブル作動時間を設定することができます。
【30 秒】【180 秒】【常時（MAX）】の 3 つから選択することができます。

※ スクランブルモードについては（P.7）を参照してください。



オプション設定 2 設定項目内容 続き

④ スマートモードセンサータイプの設定

この設定はセンサータイプを切り替えることで、ピーク表示機能（P.14 参照）の単位を変更します。
【SM.1】のエアフロセンサータイプだとエアフロセンサー電圧 [V] で、【SM.2】の圧力センサータイプだと圧力センサー電圧を元に換算したおおよそのブースト圧 [hkPa] を、ピークとして表示します。

※ この設定はスマートモード 5 モードの制御に影響するものではありません。

※ 本製品では表示上の都合により、ブースト圧の単位 [× 100kPa] を [hkPa] と表示しております。

※ 圧力センサータイプの車両で【SM.1】の設定にすると、圧力センサーの出力電圧のピークを表示しますが、エアフロセンサータイプの車両で【SM.2】の設定を行うと、エアフロセンサーの電圧値を元にブースト圧換算をしてしまうため、正常な数値が表示されません。製品動作には影響はありませんが、設定を間違えないようにしてください。



⑤ パワーユニット ON/OFF 設定

『Power Thro』に付属しているパワーユニットの制御 ON/OFF を、アクセルポジションセンサーの開度により切り替える設定を行うことができます。パワーユニットが ON 状態になることで『Power Thro』で車両がパワーアップします。

アクセル開度の設定は 0% ~ 100% の範囲で 10% 刻みの設定が可能です。

例えば【2 - 7】と設定した場合、アクセル開度 20% ~ 70% の範囲でパワーユニットを ON する制御を行い、パワーアップを実現します。この際 20% ~ 70% の範囲でコントローラー右下の【AUX】が点灯し、パワーユニットが ON 状態となり、パワーアップしていることをお知らせします。

アクセル開度 20% 以下と 70% 以上の領域ではパワーユニットが OFF 状態となり、車両はパワーアップしていない状態となります。

【AUX】の点灯およびパワーアップについては、パワスロの全モードで適用されます。

※ 初期値は【2 - 7】（20% ~ 70%）に設定されています。



パワーユニット
制御開始開度 (ON)



パワーユニット
制御終了開度 (OFF)

パワーユニットの制御開始開度 (ON) の設定時は【LOW】が点灯します。

パワーユニットの制御終了開度 (OFF) の設定時は【HIGH】が点灯します。



【0 - A】(0% ~ 100%) と設定すると
アクセル開度に関係なく、全領域で
パワーアップする制御を行います。



【1 - 1】(10% ~ 10%) と設定すると
アクセル開度に関係なく、全領域で
パワーユニットが OFF となり、
パワーアップしない状態となります。

※ 本設定で設定するアクセル開度はスロットルポジションセンサーからの入力時の開度になります。

アクセルを踏み込んだ際にコントローラーに表示されるアクセル開度は本製品からの出力時の開度であるため、実際に制御が ON になるタイミングとコントローラーに表示される開度ではズレが生じますが、本製品の故障ではありません。

※ パワスロ OFF の場合、本設定を行っていてもパワーユニットも OFF となるため、パワーアップしません。
また、パワーユニットのみ ON 状態にすることはできません。

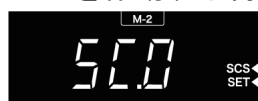
オプション設定 2 設定項目内容 続き

⑥ スタートコントロールシステム（SCS）動作設定 【別売の SCS ハーネスが必要です。】

車両に搭載されている「アイドリングストップ」キャンセル機能（アイドリングストップしないようにする機能）やスバル「SIドライブ」の『S モード』、レクサス「ドライブモードセレクト」の『SPORT モード』といった機能やモードは、基本的にエンジン始動毎に解除され、初期状態に戻ってしまいます。別売の【SCS ハーネス】を接続することで、「アイドリングストップ機能」をキャンセルした状態や、「SPORT モード」といった、エンジン始動毎に手動でボタン操作が必要なモードをあらかじめ選択した状態からスタートすることが可能になります。

この設定では、スタートコントロールシステム（以下 SCS とします。）の作動 ON/OFF や作動するタイミングを設定することができます。

本設定を【SC.1】または【SC.2】にした場合、エンジンの始動時や特定の動作を行った際に、SCS を作動する制御が行われ、制御中の数秒間、コントローラーの【SCS】が点灯します。



【SC.0】 SCS を使用しない



【SC.1】 SCS を使用する

初期値 ※ エンジン始動時に SCS を動作するよう制御を行います。



【SC.2】 SCS を使用する

※ この設定では SCS の動作をエンジン始動時には連動しません。
パワスロ OFF 状態から POWER ボタンを操作し、パワスロ ON 状態に切り替えたタイミングで、SCS が動作するよう制御を行います。
（エンジン始動毎に最初の 1 回目のみ、上記操作で制御が行われます。）

※ 【SC.2】に設定し、パワスロを ON スタートで使用される場合は、POWER ボタン操作でパワスロ OFF 後、再度 POWER ボタン操作し、パワスロ ON 状態にしたタイミングで SCS を作動する制御を行います。

商品名	コード No.	本体価格
Thro Con SCS ハーネス	14800	¥2,000

※ SCS の適合情報および、各車両への接続箇所については、弊社 Web サイトのスタートコントロールシステム（SCS）配線図を参照してください。

◎ アクセル開度表示

コントローラー ON の状態で、走行中アクセルペダルを踏み込んでいると、コントローラーの 7 セグ表示とバー表示にてアクセル開度を表示します。

単位は『%』で表示は 10% ~ 100% の範囲で 2% 刻みで表示します。

アクセル開度が 0% ~ 10% の間は、パワスロのモード表示となります。

※ この表示はスロコン機能にて制御を行った後の出力側の数値となるため、実際のアクセルペダルの踏み込み量と多少ズレが生じる場合がありますが、本製品の故障ではありません。

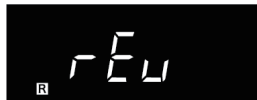
◎ リバースキャンセルモード

付属の電源ハーネスのリバース配線（ピンク線）を車両のリバース線に接続することで、リバースギア時に一時的に本製品を OFF 状態に切替え、ノーマル復帰させる機能です。

リバースキャンセルモード中は【R】表示と共に 7 セグ部分にも【REV】と表示されます。

※ リバース配線は接続しなくても、通常の製品動作に影響はありません。

※ 車両のリバース信号線の位置についてのお問い合わせに関して、弊社では一切お受けできませんのでご了承ください。カーディーラーへお問い合わせ頂きますよう、お願いいたします。



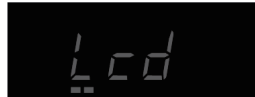
【REV】表示（リバースキャンセルモード）

◎ LCD バックライト輝度設定

コントローラーが OFF 状態で、「UP・DOWN ボタン」を操作することで LCD バックライトの明るさを 10 段階にて調整を行えます。（初期値は 5 段目になっています。）

1 秒間操作を行わなければ、コントローラーは OFF 表示に戻ります。

バックライト輝度設定



【Lcd】2



【Lcd】10

◎ ピーク表示機能

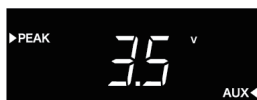
コントローラーが OFF 表示の状態で、POWER ボタンを 5 秒以上長押しすることで、NA 車両の場合、エアフロセンサー電圧、Turbo 車両の場合、圧力センサー電圧を元に換算したおよそのブースト圧をピークとして表示します。

エアフロセンサータイプ、圧力センサータイプの切り替えは、オプション設定 2 のスマートモードセンサータイプ設定項目にて行えます。（P.12 参照）

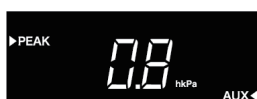
※ ピーク表示センサータイプの設定が車両のセンサータイプと異なっていると正常な数値を表示しません。設定を間違えないように注意してください。

※ ブースト圧のピーク表示について、パワーユニットによる制御を行った後の出力側の数値を表示します。車両に純正でブースト計が装着されている場合、その数値はパワーユニットによる制御を行う前の入力側の数値を表示するため、ピーク表示の数値とズレがある場合があります。

※ ブースト圧のピーク表示について、圧力センサー電圧を元に換算したおよそのブースト圧の表示となります。後付けのブースト表示が可能な製品とは数値にズレが生じている場合がありますので、ご了承ください。また製品仕様上、エンジン始動時（クランキング時）の圧力センサーの電圧がピークとして残るため、負圧側の表示はできませんので、ご了承ください。



センサータイプ【SM.1】の表示
（エアフロセンサー電圧）



センサータイプ【SM.2】の表示
（圧力センサー換算のブースト圧）

※ 本製品では表示上の都合により、ブースト圧の単位 [× 100kPa] を [hPa] と表示しております。

トラブルシューティング

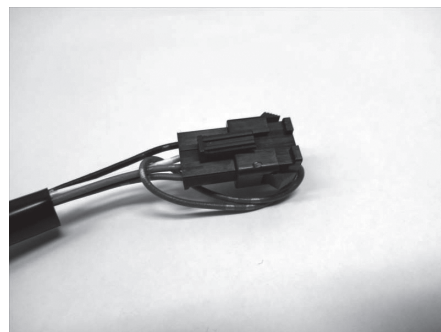
本製品の使用にあたり、正常に動作しない場合などは下記項目をチェックしていただき、症状の確認と不具合の改善を試みてください。

ご確認いただいても症状が改善しない場合は、販売店・取り付け店にご相談いただくか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

症状	原因および対策
電源が入らない コントローラーが点灯しない	・ アクセルセンサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ ・ 正確に【常時+12V】または【IG-ON+12V】を接続していますか？
電源が切れない コントローラーが消灯しない	・ 一部車両ではエンジンを停止（IG-OFF）しても、センサーの電源が切れないため、コントローラーの表示がしばらく点灯したままになります。本製品の故障ではありません。 ・ 電源を【常時+12V】から取られている場合は【IG-ON+12V】に変更してください。
ドアを開けるとコントローラーが点灯する	・ 一部車両ではスマートキーを持った状態で車両に近づく、または車両のドアを開閉することで、センサーに電源が自動的に流れるものがあります。本製品の故障ではありません。
アイドリング不調	・ 初期設定が正常に行われていない可能性があります。再度初期設定を行ってください。 ・ 取り付け作業時にバッテリーを外した場合、アイドリング学習が必要な場合があります。一度専用センサーハーネスを取り外し、アイドリング学習を行ってから再度取り付けてください。アイドリング学習の方法については販売店もしくはカーディーラーにお問い合わせください。 ・ 圧力センサーもしくはエアフロセンサーのコネクタが抜けかかっている可能性があります。確実にロック位置まで挿し込まれているか確認してください。
エンジン不調	・ 初期設定が正常に行われていない可能性があります。再度初期設定を行ってください。 ・ 専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ ・ 圧力センサーもしくはエアフロセンサーのコネクタが抜けかかっている可能性があります。確実にロック位置まで挿し込まれているか確認してください。
エンジンチェックランプが点灯	・ エンジン停止（IG-OFF）後、15分以内にアクセルポジションセンサーのコネクタを抜く、またはスマートキーを車両から遠ざけない状態でコネクタを抜いていませんか？ ・ 初期設定が正常に行われていない可能性があります。再度初期設定を行ってください。 ・ 専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ ・ 圧力センサーもしくはエアフロセンサーのコネクタが抜けかかっている可能性があります。確実にロック位置まで挿し込まれているか確認してください。
キックダウンしづらい シフトポイントが変化した	・ 本製品は実際にアクセルペダルを踏んでいる状態よりも、擬似的に踏んでいない（エコ時）、または踏んでいる（エコ以外）状態を作り出しています。設定しているモードによっては、キックダウンやシフトポイントの感覚が純正状態とは異なる場合があります。本製品の故障ではありません。
ブースト特性が変わった	・ ターボチャージャーなどの過給器付き車両の場合、ブースト特性が変わる場合があります。特にブーストアップやタービンの変更を行っている場合は、ブーストの再調整を行ってください。
表示がおかしい	・ 本製品は7セグで幅広く文字を表示させるため、特殊な表示を採用しております。（P.4 参照）
【ER1】が表示される	・ パワーユニットのハーネスが接続されていないもしくは断線している可能性があります。速やかに車両を停車し、圧力センサーもしくはエアフロセンサーハーネスをノーマル復帰を行い取り付け確認を行ってください。（P.7, P.16 参照）

⚠ 圧力センサー、エアフロセンサーハーネスのノーマル復帰 ⚠

- ・ 圧力センサーおよびエアフロセンサーハーネスにはノーマル復帰用のコネクタが付属しています。車両のチェックランプが点灯した際には、圧力センサーおよびエアフロセンサーハーネスをノーマル復帰コネクタで下記写真のようにノーマル復帰させ、不具合原因の特定を行ってください。



⚠ チェックランプ消灯方法 ⚠

- ・ 作業ミス等でエンジンチェックランプが点灯した場合は下記手順でチェックランプの消灯を試みてください。
- ① 専用アクセルセンサーハーネスおよび、圧力センサーまたはエアフロセンサーハーネスを取り外し、車両を純正状態に戻し、エンジンの始動と停止を数回繰り返してください。
(この操作によってチェックランプが消灯しても、点灯した履歴はECUに残っています。)
 - ② ①の操作を行っても消灯しなかった場合、純正状態のままバッテリーのマイナス端子を5分程度外し、マイナス端子を戻してください。
 - ③ ①および②の操作を行ってもチェックランプが消灯しない場合は、販売店やカーディーラーにて専用の診断機を使用して消灯させてください。

保証規定とカスタマー登録

本製品には製品保証を設けております。
製品保証を受けるためには下記カスタマー登録が必要になります。

保証内容について

- 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。したがってカスタマー登録後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、いずれかひとつでも保障規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
- 弊社は印刷物の内容に万全を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 弊社は必要とみなした場合に予告なしに保証規定を改定する権利を有しております。当規定において保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させていただきます。
- 本製品が原因で生じた傷害（車両トラブル、その他の事故一切）や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては、一切の保証は致しかねます。また、その際に発生するすべての費用（脱着工賃、関連作業工賃、送料・関連して生じた直接および間接の損失、損害）につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために「カスタマー登録」をお願い致します。

下記 Web サイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター（0422-60-2277）までお問い合わせください。尚、カスタマー登録されていない場合、保証期間内であっても保証対象外となりますので、ご注意ください。

<http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html>

株式会社ブリッツ（以下「当社」といいます）はお客様からお預かりした個人情報の保護はきわめて重要なことと認識しており、関係法令および規範を厳守し、以下の個人情報保護を定め確実な履行に努めてまいります。

- 当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また採用活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、できる限り目的を限定し、お客様の同意を得たうえで適切な方法で収集いたします。
- 当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに義務委託先以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
- お客様自身のお申し込みがあった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。

製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
T E L	0422-60-2277
F A X	0422-60-0066
U R L	http://www.blitz.co.jp/

発売元

発売元	株式会社ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
取扱説明書番号	15600002
初版作成年月日	2016 年 4 月 27 日

BL⚡TZ
